

教科(科目)	国語(古典探究)	単位数	2単位	学年(コース)	5学年(自然科学コース)
使用教科書	桐原書店『探求 古典探究』				
副教材等	第一学習社『新訂総合国語便覧』、尚文出版『古文単語325』、 いっぴいな書店『これでわかる 明快古典文法』、桐原書店『漢文必携』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル(地域的・地球的)な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

大学進学を想定している生徒が大多数を占めることから、

- ① 基本的な言語事項について、表現方法や文脈を踏まえた活用ができる正確な習得を目指します。
- ② 文章を的確に理解した上で、根拠を含む論理性を備えた思考力を身につけることを目指します。
- ③ 自分の思考を的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。
- ④ 発展的な知識教養にも触れ、自発的に見識を深める姿勢の習得を目指します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	説話	3 「A 読むこと」	宇治拾遺物語 古今著聞集 沙石集	<ul style="list-style-type: none"> 説話を読み、登場人物の心情を理解する。 用言の活用について理解を深める。 	3	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	故事・寓話	2 「A 読むこと」	画竜点睛 漱石枕流	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の基本構造を理解し、正確に現代語訳ができるようにする。 使役形や疑問形などの句法について理解する。 	2	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
5	随筆 I	4 「A 読むこと」	徒然草 方丈記	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読み、人間や社会等に対する作者の考えを正確に読み取る。 	4	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	史伝 I	3 「A 読むこと」	赤壁の戦い 背水の陣	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 受身形について理解する。 	3	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
6	物語と日記	7 「A 読むこと」	竹取物語 伊勢物語 大和物語 更級日記	<ul style="list-style-type: none"> 物語を読んで、登場人物の心情を読み取る。 敬語について理解する。 助動詞について理解する。 	7	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査

7	詩	2 「A 読む こと」	秋風引 臨洞庭	<ul style="list-style-type: none"> 中国文学の精華である唐詩を読み味わい、代表的な詩人についての文学史的知識を身につけ、漢詩への関心を深める。 詩人の自然観や人生観が情報どのようによまれているかを考える。 それぞれの詩について、詩形・押韻・構成等の漢詩のきまりについて理解する。 	2	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	随筆Ⅱ	2 「A 読む こと」	枕草子	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読み、人間や社会等に対する作者の考えを正確に読み取る。 敬語について理解を深める。 助詞について理解する。 	2	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
8	日本の漢文	3 「A 読む こと」	絶句 律詩 古体詩	<ul style="list-style-type: none"> 様々な時代における日本の漢詩を読み、作品の多様な姿を理解する。 	3	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
9	歴史と軍記	6 「A 読む こと」	大鏡 平家物語	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 助動詞について理解を深める。 敬語について理解する。 	6	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
10	文章	5 「A 読む こと」	春夜宴桃李 園序 桃花源記	<ul style="list-style-type: none"> 特徴的な文体について理解を深める。 作者の社会等に対する考え方を理解する。 比況形や反語形について理解する。 	5	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	物語	7 「A 読む こと」	源氏物語	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 助詞について理解を深める。 敬語について理解を深める。 	7	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
11	史伝Ⅱ	7 「A 読む こと」	鴻門之会 四面楚歌	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 抑揚形や詠嘆形について理解する。 	7	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
12	和歌と俳諧	8 「A 読む こと」	和歌 俳諧	<ul style="list-style-type: none"> 和歌、俳句について、それぞれの形式やリズム、表現方法に注意して読む。 詩歌に親しみ、そこに描かれた世界を読み味わう。 	8	授業観察 発問評価 課題点検
1	思想	6 「A 読む こと」	論語 孟子 荀子	<ul style="list-style-type: none"> 中国の思想を代表する儒家思想の概略をとらえる。 孔子や孟子の思想について理解するとともに、それらが現代においてどのような意味をもっているかを考える。 仮定形について理解する。 	6	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
2	近世文学	5 「A 読む こと」	日本永代蔵 雨月物語	<ul style="list-style-type: none"> 近世の文学を読み、登場人物の心情について読み味わう。 作中人物や作者の考え方が現代に通じている点について考察する。 	5	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
3						

計 70 時間 (50 分授業)

※領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「読むこと」 70時間
-----------------	-----------------

7 課題・提出物等

- ・家庭学習用の課題を適宜指示します。
- ・長期休業中の課題について別途指示します。

8 担当者からの一言

- ・「古典探究」は、様々な活動を通して、知識だけでなく、論理的読解力や思考力、表現技法等を身につける科目です。古文、漢文など近代以前の文章（古典）だけでなく、近代以降の詩や小説も扱うなど、内容が多岐にわたります。様々な言葉の力を高められるよう、積極的に授業に臨んでください。

(担当：津野)